

学校経営の基本方針

- 1 一人一人のよさを生かした教育活動を展開する。
- 2 確かな学力を育む授業づくりに取り組む。
- 3 9年間で育てていく小中連携教育を推進する。
- 4 地域とともにある学校づくりを推進する。

本校は、平成28年に旧大貫小学校と旧夏海小学校が統合した、開校9年目の学校です。茨城県の海沿いのほぼ中央に位置し、眼下には太平洋を臨み、波の音が静かに響き渡る高台に立地しています。校舎は南中学校と同一敷地内に併設されており、校舎間の渡り廊下（ガレリア）によってつながっています。小学生と中学生がともに学び合いながら学校生活を送ることができる素晴らしい環境となっています。

校舎が中学校と併設していること、さらに一小一中体制であることを本校の強みと捉えて、開校より、児童生徒を9年間で育てる小中連携教育を一つの柱として取り組んでいます。南中学校とは、「相互乗り入れ授業」を実施しており、高学年で中学校教員による教科担任制を一部導入したり、小学校から進学した生徒を見守りながら小学校教員が中学校で授業を行ったりしています。この取組によって、児童・生徒の不安感の軽減ばかりではなく、教職員の他校種への理解や授業改善にもつながっています。

さらに、持続可能な連携体制として、小・中の全職員が所属する3つの研究部を立ち上げ、組織的な取組を行っています。9年間を見通した生徒指導や保健指導、異学年の交流活動など、教職員一人ひとりが明確な役割をもち、主体的に取り組むことで、学校の活性化につなげていきたいと思えます。そして、令和6年11月23日（土）には、第19回小中合同教育実践研究発表会を実施する予定です。『対話』から新たな価値を創る—教科や学校の枠を超えた学びのデザインを通して—という主題を設定し2年次となりますが、南中学校とともにさらに研究を進めていきたいと思えます。皆様にご参会いただき、ご批評を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和4年度から「大洗うみ・まちコミュニティスクール」（南エリア）として、学校運営協議会を中心に、学校・家庭・地域が連携した特色ある学校づくりを推進しております。9年間の学びの連続性を生かし、さらに、地域の人々と一体となって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校」づくりに全職員で努めてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 福田 雅美